

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年12月17日

訪日外客数（2025年11月推計値）

◇11月：3,518,000人、累計で過去最高を更新

- 11月の訪日外客数は3,518,000人で、前年同月比では10.4%増となった。11月までの累計では39,065,600人となり、年間で過去最高を記録した2024年の36,870,148人を上回った。
- 11月は紅葉シーズンの後半となり、欧米豪・中東を中心に高い訪日需要が見られたこと等もあり、東アジアでは韓国、台湾、東南アジアではマレーシア、インドネシア、欧米豪では米国、カナダを中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 韓国や米国、台湾など19市場で11月として過去最高を記録し、11月までの累計では17市場で年間での過去最高を更新した。また、米国が初めて累計300万人を突破し、中国、韓国、台湾に次ぎ4市場目となる年間で300万人を超えた市場となった。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

*月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2025年）（PDF・Excel）」

*訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

*11月過去最高の19市場は韓国、台湾、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、スペイン、北欧地域、中東地域。

*11月までの累計で年間過去最高を記録している17市場は台湾、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域、中東地域。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL : 03-5369-6020 E-MAIL : data@jnto.go.jp



Japan.
Endless
Discovery.

独立行政法人 国際観光振興機構
企画総室 広報グループ

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4
TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200
URL: <https://www.jnto.go.jp/>

2025年 訪日外客数・出国日本人数

2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization (JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸率 Change %	2024	2025	伸率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,629 (3,455,149)	40.7 (44.8)	838,581	912,298	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,491 (2,965,065)	16.9 (16.4)	978,884	1,181,062	20.7
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)	3,497,755 (3,149,434)	13.5 (13.7)	1,219,789	1,423,449	16.7
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)	3,909,128 (3,587,187)	28.5 (29.8)	888,767	961,386	8.2
5 May	3,040,294 (2,758,219)	3,693,587 (3,368,573)	21.5 (22.1)	941,709	1,076,756	14.3
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)	3,377,985 (3,110,559)	7.6 (6.8)	930,229	1,054,045	13.3
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)	3,437,118 (3,161,501)	4.4 (3.5)	1,048,823	1,205,435	14.9
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)	3,428,406 (3,072,139)	16.9 (16.1)	1,437,126	1,648,279	14.7
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)	3,267,228 (2,893,816)	13.7 (13.7)	1,212,545	1,394,525	15.0
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)	3,896,300 *	17.6 *	1,148,502	1,243,575	8.3
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)	3,518,000 *	10.4 *	1,175,117	1,330,000 *	13.2 *
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)			1,187,210		
1~11 Jan.-Nov.	33,380,260 (30,331,540)	39,065,600 *	17.0 *	11,820,072	13,430,800 *	13.6 *
1~12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)			13,007,282		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2024年の値は確定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、

日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。

駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2024) and provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2025年11月 訪日外客数 (JNTO推計値)(対2024年比)

Visitor Arrivals for Nov. 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域 Country/Area		総数 Total			総数 Total		
		2024年 11月	2025年 11月	伸率(%)	2024年 1月～11月	2025年 1月～11月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,187,175	3,518,000	10.4	33,380,260	39,065,600	17.0
韓国	South Korea	749,506	824,500	10.0	7,950,388	8,485,300	6.7
中国	China	546,339	562,600	3.0	6,377,049	8,765,800	37.5
台湾	Taiwan	488,362	542,400	11.1	5,553,154	6,175,000	11.2
香港	Hong Kong	227,062	207,600	-8.6	2,397,838	2,226,200	-7.2
タイ	Thailand	118,001	117,400	-0.5	1,002,182	1,059,100	5.7
シンガポール	Singapore	95,830	89,400	-6.7	554,976	585,600	5.5
マレーシア	Malaysia	62,027	71,200	14.8	435,254	536,000	23.1
インドネシア	Indonesia	48,841	56,400	15.5	442,657	558,900	26.3
フィリピン	Philippines	87,078	92,000	5.7	710,144	769,500	8.4
ベトナム	Vietnam	50,213	51,800	3.2	581,113	634,800	9.2
インド	India	23,542	28,900	22.8	216,060	291,700	35.0
豪州	Australia	80,266	85,600	6.6	807,696	937,100	16.0
米国	U.S.A.	247,464	302,500	22.2	2,486,071	3,036,000	22.1
カナダ	Canada	47,346	62,500	32.0	531,186	630,900	18.8
メキシコ	Mexico	13,532	20,700	53.0	139,814	183,400	31.2
英国	United Kingdom	37,050	45,100	21.7	406,911	500,300	23.0
フランス	France	31,126	41,400	33.0	364,359	431,500	18.4
ドイツ	Germany	25,187	33,700	33.8	310,089	409,100	31.9
イタリア	Italy	20,849	30,400	45.8	214,644	287,700	34.0
スペイン	Spain	18,810	24,200	28.7	171,781	231,900	35.0
ロシア	Russia	13,852	27,400	97.8	93,385	186,700	99.9
北欧地域	Nordic Countries	12,290	15,700	27.7	140,095	179,600	28.2
中東地域	Middle East	19,140	28,100	46.8	153,690	239,800	56.0
その他	Others	123,462	156,500	26.8	1,339,724	1,723,700	28.7

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は確定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are definitive, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

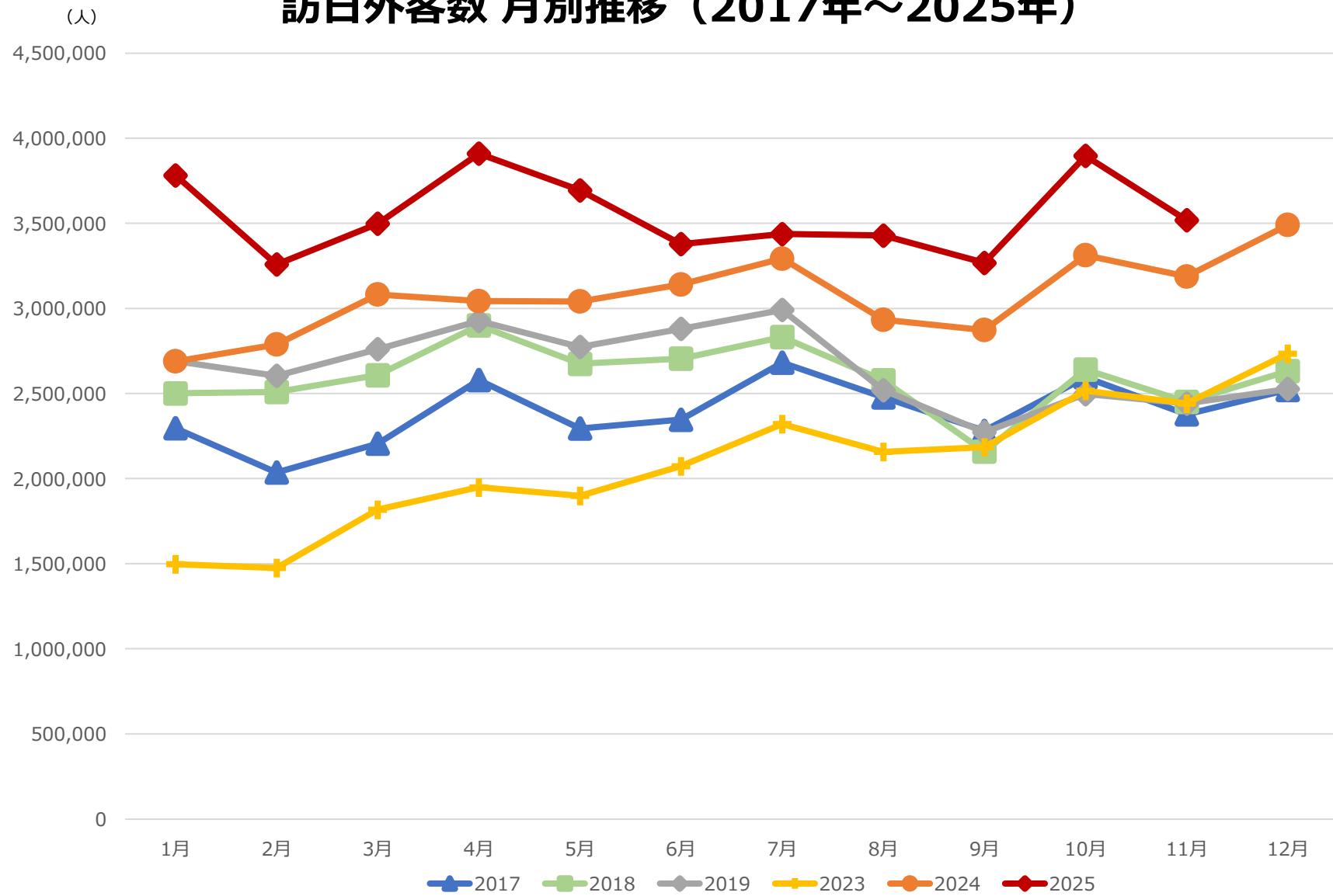
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2025年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年11月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2025年12月10日時点)としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で2025年11月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多くの市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が継続している。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、824,500人(前年同月比10.0%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、仁川～成田間、仁川～鹿児島間の増便をはじめとした航空座席数の増加等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- 中国は、562,600人(前年同月比3.0%増)であった。訪日需要が落ち着く時期であることに加え、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があった。前年の冬ダイヤ期首と比較して航空座席数が増加していたこと等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- 台湾は、542,400人(前年同月比11.1%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、台北桃園～神戸間の増便をはじめとした航空座席数の増加等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- 香港は、207,600人(前年同月比8.6%減)であった。クルーズ船の寄港等はあったものの、前年の冬ダイヤ期首と比較して航空座席数が減少していたこと等の影響により、訪日外客数は前年同月を下回った。

② 東南アジア

- タイは、117,400人(前年同月比0.5%減)であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期

である中、バンコク～羽田間、バンコク～成田間、バンコク～関西間の増便等があったものの、経済の不透明感による海外旅行需要の低迷等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

- シンガポールは、89,400人（前年同月比6.7%減）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期であるものの、昨年は11月中旬からであったスクールホリデーが今年は11月下旬からとなったこと、一部路線での減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- マレーシアは、71,200人（前年同月比14.8%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、査証免除措置による訪中旅行の継続的な人気等があるものの、クアラルンプール～関西間の直行便数の増加等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、56,400人（前年同月比15.5%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、継続する訪日旅行人気等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、92,000人（前年同月比5.7%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、マニラ～新千歳間、マニラ～関西間の復便の影響等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、51,800人（前年同月比3.2%増）*であった。経済の先行き不透明感による海外旅行需要の減少や豪雨の影響があるものの、ハノイ～広島間、ハノイ～中部間の増便等による航空座席数の増加等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

➤ 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- インドは、28,900人（前年同月比22.8%増）であった。ベンガルール～成田間、デリー～羽田間の増便や経由便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、85,600人（前年同月比6.6%増）であった。減便等により前年同月と比較して航空座席数が減少したものの、継続する訪日旅行人気やクルーズ需要の高まり等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- 米国は、302,500人（前年同月比22.2%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、祝日や前年同月と比較した航空座席数の増加およびクルーズ需要の高まり等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

- カナダは、62,500人（前年同月比 32.0%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- メキシコは、20,700人（前年同月比 53.0%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- 英国は、45,100人（前年同月比 21.7%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- フランスは、41,400人（前年同月比 33.0%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日の影響等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- ドイツは、33,700人（前年同月比 33.8%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることや継続する訪日旅行人気に加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- イタリアは、30,400人（前年同月比 45.8%増）であった。11月は海外旅行需要自体が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して航空座席数が増加したことや経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- スペインは、24,200人（前年同月比 28.7%増）であった。11月は海外旅行需要自体が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。
- ロシアは、27,400人（前年同月比 97.8%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、10月下旬から始まったスクールホリデーの影響やクルーズ需要の高まりのほか、経由便の多様化等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- 北欧地域は、15,700人（前年同月比 27.7%増）であった。秋は訪日需要が高まるシーズンであることに加え、訪日旅行に関する現地での報道の増加や前年同月と比較して航空座席数が増加したこと等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- 中東地域は、28,100人（前年同月比 46.8%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことやトルコにおけるスクールホリデー等もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。